

コシノディスカスをはじめ肉眼視される数種の珪藻が確認されますが、前回 (1/16) 調査と比較し発生量は減少しており、散見される程度でした。窒素はこの海域北部で $1 \mu\text{g-at/L}$ 台、南部で $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場平均 12.0°C 。平年比 1.9°C 、昨年比 0.6°C ともに高い。(塩分) 平均 32.25psu 。前回 (32.29) より約 0.04psu 低い。

(栄養塩、珪藻) この海域西部から北東部においてコシノディスカスや綿埃状のキートセロス・タラシオシラの一類などの珪藻が確認されるが、いずれも散見される程度と少なかった。今回調査は上げ潮時ということもあり窒素の漁場平均は前回 (1/16) 調査より高い値を示した。珪藻は減少しており発生量が少ないことから、栄養塩は大きく低下することなく推移しているものと思われる。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.7	12.0	10.1	11.4
窒素	1.8	2.2	3.4	5.0
リン	0.45	0.53	0.47	0.53

(1/16) (1/23)

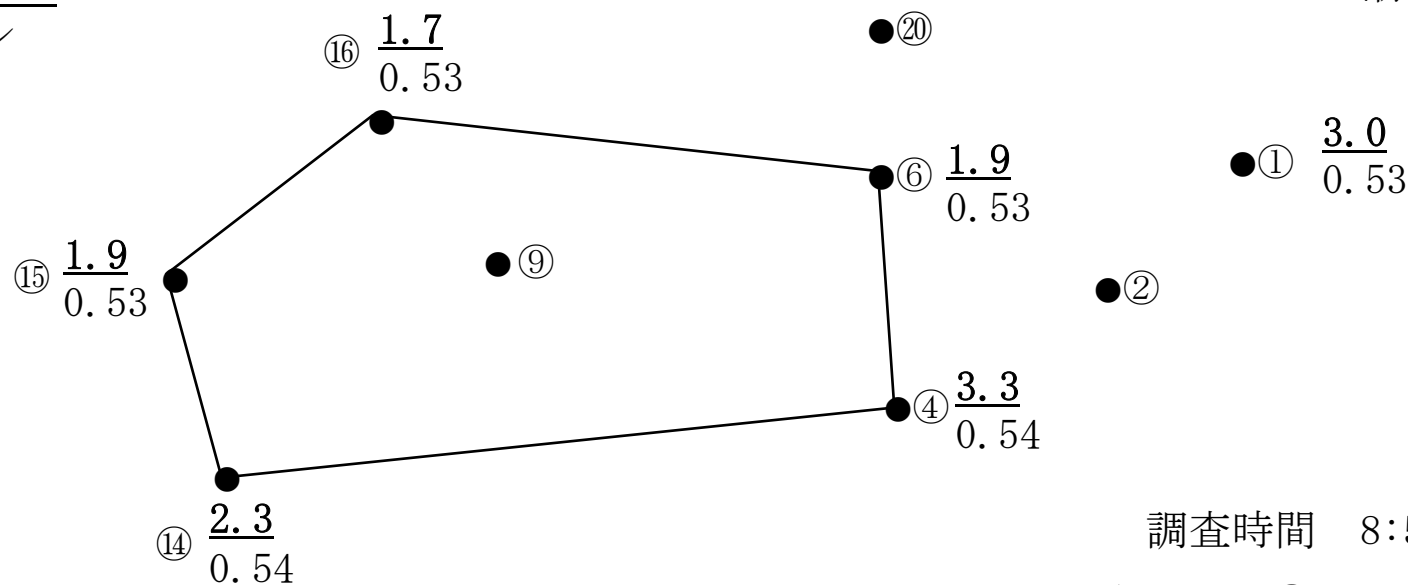
2020年 1月27日調査

栄養塩図

潮：上げ潮

窒素

リン



調査時間 8:58~9:52

(カンタマ① 7:34 上げ潮)

水温・塩分図

水温

塩分

